

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エフアンドエム  
 コード番号 4771 URL <http://www.fmltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森中 一郎  
 (氏名) 森山 大

TEL 06-6339-7177

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,013	8.9	137	88.1	147	98.3	71	251.1
25年3月期第1四半期	931	1.5	73	△8.0	74	△6.2	20	△40.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 72百万円 (289.7%) 25年3月期第1四半期 18百万円 (△43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.97	—
25年3月期第1四半期	1.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	4,982	4,057	81.1	281.52
25年3月期	5,104	4,071	79.5	282.49

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,042百万円 25年3月期 4,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950	4.0	169	2.1	172	1.5	90	22.2	6.30
通期	4,204	4.4	516	2.4	520	1.8	279	1.7	19.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	15,481,400 株	25年3月期	15,481,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,121,345 株	25年3月期	1,121,269 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	14,360,095 株	25年3月期1Q	14,360,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスによる円安・株高の流れに一服感が出たものの、引き続き景気回復への期待が高まりつつあります。

また、資産効果などによる高額消費が好調を維持し、雇用情勢も緩やかながら改善していることもあり、経営環境全般に明るい兆しが見え始めています。

このような経済状況のもと、当社グループは主要事業の会員数の増加に努めるとともに、サービス内容の拡充と業務の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高10億13百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益1億37百万円（同88.1%増）、経常利益1億47百万円（同98.3%増）、四半期純利益71百万円（同251.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (i) アウトソーシング事業

生命保険営業職員を中心とする個人事業主に対する記帳代行に関しましては、前期から引き続き会員数の安定的な増加に注力してまいりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成25年6月30日）の記帳代行会員数は40,562名（前期末比1,132名増）となりました。

この結果、アウトソーシング事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は4億9百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は1億45百万円（同0.3%増）となりました。

#### (ii) エフアンドエムクラブ事業

中堅中小企業の総務経理部門に対する各種情報提供サービスを核とするエフアンドエムクラブ事業は、総務業務関連の情報提供サービス、経営・財務面での情報提供サービスの販路拡大とサービス拡充に努めました。財務関連情報提供サービスは、会員企業の財務諸表からキャッシュ・フロー診断を行い、資金戦略を支援する『財務サポートサービス』、格付診断書を作成し、診断結果をベースに改善すべき点を洗い出し、将来の財務体質の強化、銀行からの格付を改善することを目指す『格付診断サービス』に加え、短期の経営計画立案を支援し、これをキャッシュ・フローに置き換えて可視化する『CF決算予測』が、引き続き反響を得ております。また、人材育成のサポートとして提供している各種研修については、ラインナップの充実と販路拡大のための活動を行いました。

会員企業の増大に向けては、各セミナーでの成約率向上のための営業力強化に努めました。また、会員企業には、利用できるサービスメニューを見直すと共に、コールセンター部門から電話によるフォロー活動を継続的に実施することでサービスの利用率を高めたことが契約更新率の向上に寄与しました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成25年6月30日）のエフアンドエムクラブ会員数は3,941社（前期末比10社減）となりました。

この結果、エフアンドエムクラブ事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は3億33百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は1億18百万円（同30.7%増）となりました。

#### (iii) タックスハウス事業

ワンストップ・ファイナンシャルショップを目指す税理士・公認会計士のボランタリーチェーン「TaxHouse」の本部を運営するタックスハウス事業は、加盟店が関与先企業に対して、資金繰りのコンサルティングや金融機関対策など高付加価値サービスを提供するための継続的な研修を実施するなど、各店舗の収益力の向上に注力いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成25年6月30日）の「TaxHouse」加盟事務所数は406件（前期末比4件減）となり、ランチを含めた加盟店舗数は428店舗（同4店舗減）となりました。

生命保険営業職員に限らない一般の記帳代行会員に対する記帳代行業業については、会員数の増大に向けてチャネルの深耕と拡大に努めました。また、処理工程の見直しによる原価抑制と効率的なサービス提供体制の構築を進めました。あわせて顧客満足度向上及び契約継続率向上のため、電話とSNSを活用したフォロー活動を開始いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末（平成25年6月30日）の生命保険営業職員に限らない一般の記帳代行会員数は2,663名（前期末比107名増）となりました。

この結果、タックスハウス事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1億30百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は7百万円（同346.5%増）となりました。

また、中小企業金融円滑化法終了に伴う出口戦略の一環として、平成24年11月6日に中小企業経営力強化支援法に基づく経営革新等支援機関の認定を受け、大阪東信用金庫に続き関西アーバン銀行とも提携し、中小企業向けに経営改善計画書の作成サポートサービスの提供を行っております。金融機関サイドでも、融資先を支援し中小企業の事業再生を後押しすることが求められているという背景があり、その側面支援として「ものづくり補助金」についても提携金融機関等と連携し、第2次公募の申請サポートを行いました。第3次公募に向けての引き合いも多

く、引き続きサービス提供体制の拡充に努めております。

(iv) 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は大阪本社が所有するビルの賃貸収入で、安定した収益を計上しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、13百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益は6百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

(v) その他事業

その他事業は、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業、資格学校アテナの運営及びFC指導事業等になります。

資格学校アテナの運営においては、タブレット端末を活用した講座への集客に注力すると共に、インストラクションスキル向上のための研修を定期的に行いました。

この結果、その他事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1億26百万円（前年同期比83.0%増）、営業利益は11百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は27億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が40百万円、受取手形及び売掛金が55百万円、繰延税金資産が35百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は22億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、49億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が61百万円増加した一方、未払法人税等が85百万円、賞与引当金が61百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は3億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が20百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、9億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計年度末における純資産合計は40億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益71百万円、剰余金の配当86百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.1%（前連結会計年度末は79.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,467,460	2,426,710
受取手形及び売掛金	302,470	247,131
商品及び製品	12,570	12,786
仕掛品	10,383	1,580
原材料及び貯蔵品	2,977	4,047
繰延税金資産	72,332	36,908
その他	38,880	43,163
貸倒引当金	△40,280	△32,473
流動資産合計	2,866,793	2,739,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	888,870	880,501
工具、器具及び備品（純額）	78,291	90,894
土地	729,631	729,631
有形固定資産合計	1,696,793	1,701,027
無形固定資産		
のれん	10,202	10,002
その他	133,729	133,026
無形固定資産合計	143,931	143,028
投資その他の資産		
投資有価証券	10,043	11,343
繰延税金資産	19,226	16,946
滞留債権	110,987	110,567
差入保証金	151,393	151,579
保険積立金	199,518	202,998
その他	31,607	28,472
貸倒引当金	△126,037	△123,340
投資その他の資産合計	396,738	398,566
固定資産合計	2,237,463	2,242,623
資産合計	5,104,257	4,982,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,264	10,628
短期借入金	85,200	81,000
未払法人税等	124,221	39,161
賞与引当金	132,131	70,659
その他	315,506	376,533
流動負債合計	666,324	577,983
固定負債		
長期借入金	320,000	300,000
負ののれん	2,543	2,497
その他	44,221	44,795
固定負債合計	366,764	347,293
負債合計	1,033,088	925,276
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	907,401	907,401
資本剰余金	2,085,810	2,085,810
利益剰余金	1,332,197	1,317,383
自己株式	△271,329	△271,348
株主資本合計	4,054,079	4,039,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,518	3,355
その他の包括利益累計額合計	2,518	3,355
新株予約権	3,249	3,221
少数株主持分	11,320	11,377
純資産合計	4,071,168	4,057,200
負債純資産合計	5,104,257	4,982,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	931,164	1,013,701
売上原価	275,069	298,632
売上総利益	656,094	715,069
販売費及び一般管理費	583,058	577,696
営業利益	73,036	137,372
営業外収益		
受取利息	1,951	1,645
受取配当金	313	360
助成金収入	990	340
貸倒引当金戻入額	—	7,870
負ののれん償却額	45	45
業務受託料	323	399
保険事務手数料	112	61
その他	774	1,807
営業外収益合計	4,510	12,529
営業外費用		
支払利息	2,714	2,202
その他	387	66
営業外費用合計	3,101	2,268
経常利益	74,445	147,633
特別利益		
新株予約権戻入益	27	27
特別利益合計	27	27
特別損失		
固定資産除却損	3,637	2,907
たな卸資産評価損	198	—
特別損失合計	3,835	2,907
税金等調整前四半期純利益	70,637	144,753
法人税、住民税及び事業税	19,506	36,109
法人税等調整額	33,180	37,240
法人税等合計	52,687	73,350
少数株主損益調整前四半期純利益	17,950	71,402
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,371	56
四半期純利益	20,321	71,346

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,950	71,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	585	836
その他の包括利益合計	585	836
四半期包括利益	18,536	72,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,907	72,182
少数株主に係る四半期包括利益	△2,371	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。